

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



穴山町企業特集

ヴィラグリファーム七里岩



「監事就任にあたり」

社会福祉法人信和会 監事
山梨トヨペット株式会社 顧問

古 屋 文 彦



令和5年度から信和会の監事を務めさせていただいております古屋です。

信和会の更なる発展のため微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が監事をお引き受けしたのは、同じ山梨共修社出身である信理事長からお声かけいただいたということに加えて、何よりも先代・信雄会長と父・古屋栄和(えいわ)が強い絆で結び、父が信和会の設立・運営に関わらせていただいたご縁があったからです。

韮崎中の同級生であった父と信雄会長とは無二の親友であり、当時、父は栗原家に毎日のようにお邪魔をしていたようで、信雄会長のご両親(長雄・松枝ご夫妻)には、実の子供のように可愛がっていただいていたと聞いております。父は平成22年に鬼籍に入りましたが、互いを「栗さん」「栄和ちゃん」と呼び合い、いつも満面の笑みを浮かべて二人で楽しそうに話していた姿を、今でも昨日のこのように思い出します。

信雄会長から山梨中央銀行に勤務していた父に、信和会の設立について相談があった時、父は大変驚き、「栗さん、冗談でしょ。素人が社会福祉法人をやるのは無理だよ。」と即答したそうです。ただ信雄会長の信和会設立に対する熱意・覚悟を聞くうちに、父も応援する決意を固めたようです。そうした経緯もあり、父は銀行役員退任後に、理事・評議員を務めさせていただきました。平成12年からは山梨県社会福祉協議会の会長職を10年間務めました。信和会に関わらせていただいたことが大きく影響していたと思います。

また父は、山梨中央銀行では行務の傍ら「創業百年史の編纂」「山梨中銀金融資料館の設立」を手掛けました。山梨中央銀行の歴史は、栗原信近氏(信雄会長の3代前の当主)が中心となり設立された公益社に遡ります。明治9年に国立銀行条例が改正されると、信近氏は公益社を発展させ、翌年、第十国立銀行(現・山梨中央銀行)を設立し、初代頭取に就任します。

父は奇しき縁と話していましたが、「百年史編纂」の中で信近氏の軌跡を辿ることになります。そこで山梨の殖産興業の父と言われる信近氏が、日本初の貯蓄預金である「興産金」の創設など、日本の金融史発展において果たした多大な功績を知ることになります。

銀行役員退任後は、「山梨発の福祉文化の創造」と「金融史・貨幣史の研究」が父のライフワークとなりましたが、あらためて父の人生を振り返ると、信雄会長との出会いは運命だったのだらうと思います。

このように父の人生にとって信雄会長は大きな存在でありましたが、ご子息である信理事長と私のご縁は、冒頭申し上げたとおり同じ山梨共修社出身であるということです。

山梨共修社は、明治35年に創立された120年の歴史を誇る文京区千石にある山梨県出身者のための男子学生寮です。寮には多くの同郷の学生が居住していることから、寂しさを感じることもなく充実した学生生活を送る環境が整っています。

山梨共修社では、信理事長と私は同時期に寮生活を送ることはなかったのですが、現在、年に何回か寮の理事会でお会いする機会があります。寮の運営に関する意見交換の場では、信理事長から色々な面で勉強させていただいております。信理事長が繋いでくださった親子二代の縁を大切にしたいと思います。

結びに、山梨共修社に関連して、私が運命と感じた出来事を紹介させていただきたいと思います。

山梨共修社には「盆地十里」という寮歌があります。寮歌が作られた正確な年代は不明ですが、当時の在寮生が作詞したもので、寮生の心を結ぶ歌として歌い継がれています。寮の一階ホールには「前嶋信二作詞」「戊辰正月・生原誠三郎書」と記された「山梨共修社寮歌」の額が掲げられています。歌詞は紙面の都合で紹介できませんが、1番から4番まであり、春・夏・秋・冬の情景や寮生の心境を表現した情緒溢れる歌詞になっています。

数年前、妻が寮の百年記念誌を見ていた時に、「前嶋信二は祖母の弟。慶応大学名誉教授で、初めて『アラビアンナイト』原典を日本語に訳した人」という話題になりました。確認すると本人であることがわかり、1世紀以上の時を経た寮歌の作詞者が身近な人物であったことに衝撃を受けました。父の勧めで山梨共修社に入寮したこと、妻との出会いも「運命だったのかな」と感じた出来事でした。



本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
Tel.0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

*今回の開催は、インフルエンザやコロナ感染対策に十分配慮し、対面開催とさせていただきます。

- 開催日時 : 【理事会・評議員会】
令和6年3月23日(土) 10:00~
- 開催場所 : 特別養護老人ホーム穴山の杜 会議室
- 審議事項 : 第1号議案 令和5年度第2次補正予算(案)について
第2号議案 令和6年度事業計画
第3号議案 令和6年度予算(案)
第4号議案 諸規定変更及び事業活動状況について



令和5年度第3回の理事会・評議員会は、対面にて開催といたしました。今後は対面開催が通例になるようにと考えております。第1号議案では、本部として喫煙所を設置したこと、事業所間での繰入支出・収入の説明を主な内容として補正予算をご提案しました。第2号議案では、各事業所より令和6年度事業計画を報告いたしました。共通内容としては感染対策や虐待防止の推進についてとBCPの立案についてです。第3号議案では令和6年度の予算についてご提案しました。介護事業としては収支が厳しくなっている中、加算がとれる体制づくりを進めること、障害サービスとしてはにこあす開設による利用者の分散影響を元に戻して収入を確保する旨を説明しました。職員への賃金アップを進めながらも全体として収入の増加、収支もプラスであることを説明しました。第4号議案では、給与規程変更として手当を含む賃金を翌月支払いに変更すること、報酬改定による処遇改善の支給方法を変更することを主な内容として説明いたしました。今年は三年に一度の報酬改定の年であり改定内容も処遇改善の一本化など大きな変更もありました。職員への賃金向上を促す改定でもありますが事業運営としてはさらに厳しさを増したと言えます。

令和6年度 辞令交付式

令和6年度辞令交付式が学卒者と新規採用者合わせて3名を迎え挙行致しました。

理事長より採用者・昇格者一人一人に辞令が交付され身の引き締まる思いを感じることが出来ました。新入職員を代表して今井理々子さんが決意を表明し、社会人として、信和会の一員としてのスタートを切りました。

また、同時に開催された勤続表彰では5名の職員に永年に渡り勤務されたご苦勞と感謝を込めて賞状並びに記念品の贈呈を行いました。受賞されました皆さんおめでとうございます。



穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



繋がりの大切さを噛みしめて



地域コミュニティの必要性の背景にあるのは、「共助」という考え方です。東日本大震災、能登半島地震大災害の発生時、自衛隊や民間救助隊の応援が不可欠になりますが、インフラや交通網が遮断された状況では、救助の手が届かない場所が生じてしまうことは避けられません。発生時からその直後は、まず自分や家族の生命を守る「自助」に務めることが大前提です。その後、自衛隊などの救助が来るまでの間、同じ地域の住民同士でお互いに助け合う「共助」の精神が必要になるのです。特に水害や土砂崩れなどが起きた場合、生命のリミットとして知られる72時間、地域住民同士で声掛けや協力をし合う事で、助けられる生命が少なくありません。

地域貢献は前会長からの法人の理念であり、穴山の里があつて良かったと言われるように地域の皆様との関係を大事にしていきますので、今年度もよろしくお願い致します。

施設長 栗原 信



勤務歴 10 年の表彰



この度は、第39回韮崎市社会福祉大会にて、永年勤続表彰して頂き誠にありがとうございます。この表彰は、私にとって身に余る光栄であるとともに、入職当時から現在までを振り返る良い機会となりました。

入職以来、上司をはじめ先輩職員や同僚の皆さんから多くのことを教えて頂き、様々な経験をさせてもらったことは私の財産となりました。皆様に感謝するとともに、身の引き締まる思いです。これからも出会えた人との絆を大切に、感謝の気持ちを忘れずに、仕事に精進していく所存です。今後ともよろしくお願い致します。



支援員 戸崎 由美子

ほのぼの班 機能訓練



ほのぼの班では利用者の高齢化に伴い、軽体操や踏み台昇降、歌唱など機能低下防止支援をメインに取り組んでいます。昨年度からは新たにPTの機能訓練士に来ていただき専門的に行っています。職員だけでなく、外部のPTと一緒に訓練する事が利用者も刺激になり、楽しみに機能訓練に日々励んでいる様子です。いつまでも健康で明るくいられるよう職員共々、これからも頑張ります。



ホワイトデー

ケーキにデコレーションをしてメッセージカードと共に日頃の感謝をこめて男性利用者にお返ししました。



ひな祭り



ひな人形の前で写真を撮り風船バレーや可愛らしいうさぎのプリンアラモードを食べました。



ヤクルト様より



日頃より、給食でお世話になっているヤクルト様から、車椅子を寄付して頂きました。

わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



キットパス号 山梨初上陸！！

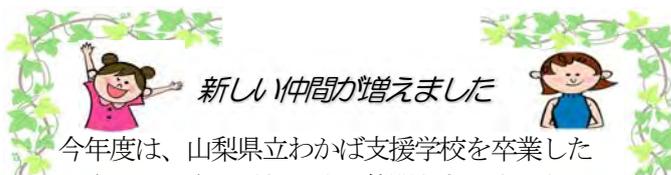
神奈川県にある日本理化学工業様のキットパス号が山梨県に初上陸しました。障害者雇用率70%を誇り、ダストレスチョコレートを製造している日本理化学工業様の新商品「キットパス」。昨年24時間テレビで放映された「虹色のチョコレート」は、まだ記憶に新しいのではないのでしょうか。

石川県に向かうと聞き、応援メッセージをたくさん描きました！翌日には石川県に到着。無事にエールが届きお互いに頑張ろうと伝え合えたことは本当に嬉しい出来事です。

日本理化学工業の皆様、繋いでいただいたキットパスインストラクターの川口様、ありがとうございました。

令和5年度平均工賃額

昨年度も高水準の工賃を目指し、働きやすい環境や作業の細分化などの仕組み作りに取り組みました。取引先企業様からの信頼もいただき、仕事が潤沢にある中で進めることが出来ましたことを感謝申し上げます。令和5年度の平均工賃額は4,111円となりました。今後も皆さんの活躍の場となるよう取り組みます。



新しい仲間が増えました

今年度は、山梨県立わかば支援学校を卒業したAさん、Oさんがわ〜くの仲間となりました。2人の目標をききました。買い物をしたり、家族とお出掛けが出来るように仕事を頑張りたいのようです。みんなと一緒に頑張っていきましょう。

共同生活事業所

共同生活事業所 (ここあす内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4462-2
TEL : 0551-45-9830
E-mail : kyoudou@sip-shinwakai.jp



おはぎ作り



あなやまハイツでは、お彼岸の時期に利用者の方々と世話人が一緒におはぎ作りを楽しんでいます。利用者の方々が米を研いだり、餡を丸めたりするなど様々な工程に挑戦します。一緒に作ることで、コミュニケーションを図りながら、お互いの特技や個性を活かしあっています。皆で作ったおはぎを味わいながら、お茶を楽しむ時間を過ごします。このようなおはぎ作りの活動を通じて、利用者の方々と世話人がお互いに関わり合い、共に成長していくことを目指しています。



ひな祭り

グループホームでのひな祭りの様子は、とても楽しく賑やかなイベントです。まず、スタッフと利用者が一緒に、ひな祭りにふさわしいデコレーションを施します。利用者のひな人形や春のお花などを飾り付けて、グループホームを華やかに演出します。ちらし寿司やひなあられなど、日本の伝統的なお菓子や料理が振る舞われました。利用者の方々は、美味しい料理を楽しみながら、ひな祭りを堪能しました。

友情の再会

ケアホーム宿尻の利用者がここあすを訪問しました。以前一緒に住んでいた仲間と再会しました。再び顔を合わせ、握手を交わす瞬間は、感動的で喜びに満ち溢れたものとなりました。



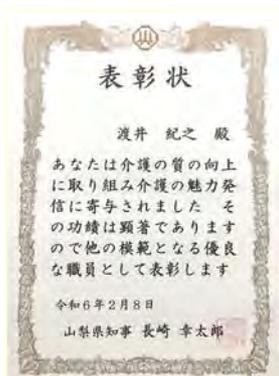
穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp

山梨県介護の魅力 優良職員表彰

特別養護老人ホーム穴山の杜にて勤務されている渡井紀之さんが、優良職員として選出され、2月8日山梨県庁にて行われた山梨県介護の魅力優良職員表彰式へ出席、表彰状を授与されました。山梨県が介護の質の向上に取り組み、他の模範となる優良な介護職員を表彰し、介護職員のモチベーションの向上を図り、介護人材の確保・定着に繋げる事を目的としたものです。

渡井職員は、ユニットリーダーを務めており、利用者主体の介護に尽力し、委員会活動にも積極的に職員の資質向上や介護力の向上へも取り組み、利用者やご家族、職員からも信頼されています。令和6年度からは介護部の副主任に就任しました。これからも、渡井職員の“魅力”を発揮していただきたいと思います。おめでとうございます！



新 第三者委員 ご紹介

今年度4月より第三者委員を務めて下さいます。よろしくお願い致します。

生山澄江様 経歴：地区民生委員

伊藤正大様 経歴：穴山公民館館長・穴山町区長会長



第三者委員退任にあたり… 前第三者委員 嶋津與徳様

高齢者福祉を始め、国民の多くが福祉サービスを必要とする時代です。平成18年10月1日に特別養護老人ホーム穴山の杜が開所しました。社会福祉の増進の為、社会福祉法第82条の規定により社会事業の経営者は、常にその提供するサービスについて、利用者などから苦情の適切な解決に努めなければならないとされています。穴山の杜では、苦情に対して、適切な対応を行う事により、利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図ると共に、事業に対する社会的な信頼を向上させる事を目的に「穴山の杜 苦情対応規定」を制定して活動し、苦情解決における客観性と社会性を確保し、苦情申し出人に適切な支援を行う為、第三者委員を設置しています。私は、開所した翌年平成19年4月1日～令和6年3月31日までの17年間に渡り、第三者委員を務めさせていただきました。公平な立場に立つ第三者委員として、山寺初代さん（平成29年4月～令和6年3月）、森岡節子さん（平成19年4月～平成29年3月）と共に定期的に施設を訪問して、利用者や職員と面談し意見を伺い、また生活の様子を見させていただいています。事業者・施設長を始め職員の努力、利用者とそのご家族の忌憚のない意見等、それぞれの立場で快適で楽しい生活が出来るように努力しており、大きな苦情はありません。嘗て経験した事のない新型コロナウイルスが令和2年に発生し、世界中が震撼した時、施設や職員の努力、利用者の苦しみ等、多くの苦難を乗り越えた事は筆舌につくしがたく、施設一丸となつての努力に感謝致します。人生百年時代という言葉がありますが、新しい事や好きな事をする、脳は刺激を受け活発化します。老後が安心して暮らせる為、穴山の杜が益々発展される事をお祈り申し上げます。

穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800
E-mail : moritanki@sip-shinwakai.jp

『令和6年度 リーダー職として・・・』

介護リーダー 丸茂 昭二

私は介護職に就いて9年になりますが、未だに高齢者の尊厳の保持と有する能力に応じて自立した日常生活を支援することの大切さを学ぶことが多くあり、介護について難しさを感じている日々です。

本年度よりリーダー職を拝命することとなりました。リーダーになるのは初めての経験で責任の重さに身の引き締まる思いです。自分らしさを強く持ちしっかりとひとつひとつのことを大切にし、利用者や他の職員から信頼されるよう日々精進して参ります。

またリーダー職を通して自分自身が学び成長し続けることで人間力を磨いていきたいと思っております。ご迷惑をお掛けする事が多いかと存じますがご指導のほどよろしくお願い致します。

節分

2月3日、今年も恒例の豆まきを行いました。事前には利用者と一緒に鬼のお面を作成しました。当日は、施設の大柄な鬼に向かって「鬼は外 福は内」と、悪いものを追い払い、幸運が舞い込むように願いました。



余暇活動

季節に合わせてお花紙や折り紙を使用し、「水仙」、「桃の花」、「チューリップ」等を利用者の皆様と作成しました。庭先を見ると作品と素晴らしい景色のコラボレーションに「きれいだね!」「部屋が明るくなったねー」との声が聞かれました。



暖かい日差しに誘われて、ベランダでお花見をされる姿が見受けられるようになりました。

新しい仲間紹介

皆様、初めまして。 丹澤里穂と申します。

今年2月に中途入職し、栄養士として勤務しています。栄養士としての経験は8年目になりました。

また、事務も担当させて頂く事となり、覚えることも多く毎日が勉強です。利用者・ご家族の皆様にあ穴山の杜短期に来て良かったと思っただけの施設づくりにこれからも努めて参ります。これから宜しくお願い致します。



感謝録

(令和6年1月1日から令和6年3月31日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

仲二見金男・桑原千代子・佐伯久美子・木島 廣子・
雨宮 孝由・山梨ヤクルト販売㈱

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

永井萬喜子・生山 澄江・田中 康子・川口 ちほ

訪問録

(令和6年1月1日から令和6年3月31日)

☆教育実習・職場実習 (敬称略)

◎帝京学園短期大学

堀内優希

新社会人の抱負

穴山の里：生活支援員

今井理々子 (長野大学)



大学では相談援助を主に学びましたが、一人一人の生活をサポートしていく中で、支援者に求められていることは何かをもっと理解し、専門職としてまずは成長したいと考え、穴山の里で働くことを決めました。その為未経験な面が多く、ご迷惑をおかけするかとありますが、職員の皆様の姿から積極的に学んでいき、一日でも早く1人前

になれればと思っています。また、利用者の皆様が自分らしく、安全な生活を送れるようなサポートが出来るように、信頼に足る職員になっていきたいです。私はこれまで長野県で生まれ育ち、ここ穴山町には初めて訪れましたが、自然がいっぱいで地域の方々の繋がる拠点多いところはどこか出身地に似ていて、とても居心地が良いと感じます。これから外の活動等で穴山の四季を感じながら、日々職務に励んでいきたいです。よろしくお願いいたします。

編集後記

様々な花が咲き始め、春を感じ始めたと思っていたところ、急に夏日の気温。法人内に植樹されている桜も、急ピッチで咲き誇っています。

「初心忘るべからず」という言葉を耳にしますが、今の使われ方と少し違い、昔は今まで経験したことがないことに対して、自分の未熟さを受入ながら、新しい事態に挑戦していく心構えやその姿の事を意味していた様です。

科学的介護等福祉の中にもICTが活用されている現在、日々の仕事内容でも「初心忘るべからず」挑戦し続けたいです。

今年度新卒1名の職員を迎え新規採用2名、若いパワーを分けてもらいながら職員一同、真の福祉の追求に邁進していく所存であります。

(長田)

令和6年度 職員研修会

信和会では、新採用職員に対して採用者研修を開催しています。

新社会人は初めての仕事となります。就業規則をはじめとする各種規程や社会保険制度、社会人としてのマナーなどを学びました。既に社会経験がある職員も法人内の規程を理解して頂くと共に最新の基準などを改めて認識して頂きました。

自己紹介、報連相やブレストなど実践をともなった研修に戸惑いも見られましたが、真剣なまなざしは今後の活躍を大いに期待できる事と実感させて頂きました。



絶景を独り占め！



隠れ家のような一棟貸しの宿

今回の表紙は2021年夏にオープンしたヴィラグリフアーム七里岩さんに伺い、代表取締役の遠藤貴士様にお話しを伺いました。高さ150mの台地の上に自然に囲まれた広大な敷地を持つ施設は、各ヴィラから富士山や南アルプス、八ヶ岳、茅ヶ岳などの四方に連なる美しい山並みを一望することができます。さらに夜には、うっすらと見える山並みの上に降り注ぐような満天の星空を見ることもできます。また甲府盆地の夜景を新府城越しに見ることもでき、夏には天の川や富士山の夏山登山の灯りを見ることが出来たり、変わりゆく景色を1日中お楽しみいただけます。今の季節は桃や桜の花が満開を迎えています。

【お問合せ】

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 2509-1

TEL : 0551-30-9481

【ご予約】

一休. com

